

Sagabi News 83

83

2022年度学園祭開催報告

2022年10月22日(土)、23(日)の2日間、嵐芸祭(嵯峨美術大学・短期大学学園祭)を開催いたしました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により制限付きでの開催でしたが、今年度は感染症対策を実施しつつも、ほぼコロナ禍以前の形式で開催することができました。「時間」というテーマで様々な催しが実施され、恒例の華道展や、雑貨部等によるショップを始め、80を超える出展があり、飲食模擬店にも大行列ができていました。その他、ゲストアーティストとしてNAZE氏、ミシオ氏、永戸大喜氏、彌永

ゆり子氏をお招きし、展示やライブペインティング、アーティストトーク、実演販売を行っていただきました。ゲストDJのKANATA氏、活動弁士の坂本頼光氏にはパフォーマンスで盛り上げていただき、活動を再開した軽音部によるライブも行われました。学園祭実行委員会が5月頃から準備を行い、コロナ禍で中断していたためあまり十分な引き継ぎもないなか自ら考え苦労しから作り上げた結果、大きなトラブルもなく無事に終えることができました。最後にご尽力くださった方、学園祭に足を運んでくださった方、様々な関係者の皆様にお礼を申し上げます。(学生支援委員長 大前智)



2022年度前期卒業式報告

9月29日(木)に、嵯峨美術大学3名、嵯峨美術短期大学美術学科6名の卒業式を挙行之、担当教員らの出席のもと、佐々木正子学長から学位記が授与されました。学長からは、「やり遂げた自信、身につけたスキルは将来必ず自分を支えるものとなる。自分というこの世でただ1人の存在を大切に、自らの未来を築き上げてほしい」との言葉が卒業生へ贈られました。(管理運営グループ)



「フィギュアの古今」展開催報告

郷土玩具は、本学附属博物館の主要な収蔵品のひとつです。中でも、その蒐集家で研究者でもあった浅見素石氏から寄贈を受けたそれは、何と2000点以上にのぼります。また、この寄贈が大きな契機となって、坂本啓子氏や栗本修一氏など有志の方々からも郷土玩具の寄贈が相次ぎました。

そうした郷土玩具コレクションの中核をなしているのが、伏見人形です。ご承知のように伏見人形は伏見稲荷大社の門前で焼かれた土人形で、江戸時代を通じて高い人気を誇りました。そうした背景には、誰にも好まれる親しみやすさと明るい雰囲気があるからなのでしょう。「庶民の人形」とも称されるゆえんです。

その伏見人形の後継者ともいえるのが、ゴジラや鉄人28号、ウルトラマンなどをかたどったいわゆるフィギュアです。ブリキやソフトビニール、プラスチックなど素材は土ではありませんが、デフォルメされたその姿には伏見人形と共通するところ

が少なくありません。おそらく、子供たちが遊ぶ大量生産型の玩具であることがその理由なのでしょう。

本展覧会はその伏見人形とフィギュアをまさにコラボさせたもので、前者は浅見・坂本・栗本三氏の寄贈品の中から96件を、後者は安齋レオ教授のコレクションなど16件を合わせて展示しました。会場では、両者の辿ってきた歴史や人びとがそれらに寄せた思いなどもパネルやキャプションでわかりやすく解説しましたので、多くの方々に興味をもっていただけたようです。なお、会期中にはギャラリートークも行われ、盛況のうちに無事終了しました。(嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 附属博物館長 山本英男)

【展覧会データ】

企画展「フィギュアの古今—伏見人形とフィギュア展」

会期：2022年10月7日(金)～12月9日(金)

会場：附属博物館



「福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 障壁画再現プロジェクト」報告

福井県からのご依頼で、2022年10月に開館した福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館内に、5代当主朝倉義景が暮らした朝倉館の一部が原寸再現されるのに伴い、その内部の障壁画14面の推定復元模写を嵯峨美術大学芸術学部日本画・古画領域 古画研究工房学生で行いました。簡単ではございますが、ご報告させていただきます。

2019年6月に福井県朝倉氏遺跡資料館（現・福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館）館長が推定復元模写のご依頼のために本学へお見えになったのが始まりでした。これまでも古画研究工房では、寺社の彩色復元や修理及び絵画の模写制作などのプロジェクトを行ってまいりましたが、今回のような障壁画14面という大規模の模写制作は初めてのことでした。また模写の原本となる絵画が大徳寺真珠庵に収められている曾我蛇足筆『四季花鳥図』（重要文化財）という難易度の高い水墨画作品であることから不安もありましたが、真珠庵ご住職の「学生の学びのためになるのであれば模写を許可する。」との熱い思いに感銘を受け、喜んでお引き受けいたしました。

当初は2020年4月から開始して、2021年11月に完成予定とし、大学院生2名、芸術学部生1名の3名体制で進め、描画方針を固めたうえで学部生を増やしていく計画を立てておりました。しかし、ご承知の通り日本でも2020年1月に新型コロナウイルス感染症の発生、その後全国的に流行したため、プロジェクトの中断を余儀なくされました。再開できたのは2021年6月からで、遅れを取り戻すために新たな学生を参加させることを諦め、3名の学生が最後まで担当してくれました。経年変化による欠損個所の復元や全体構成を整えるために、多くの資料を紐解き、何度も話し合いを重ねました。水墨画という性質上、失敗が許されないため、何

度も繰り返し練習と試作を重ね、悩みながらの作業でした。全員日々の授業課題や研究と並行しての制作であるため、大変だったと思います。その努力の甲斐もあって曾我派の特徴を上手く捉えた、感性豊かな作品に仕上がりと、学生を誇りに思っています。

博物館は、国の特別史跡・特別名勝に指定されている一乗谷朝倉氏遺跡の隣に位置しており風光明媚なところです。また館内では、重要文化財に指定されている遺跡出土品なども展示されておりますので、是非ともご高覧頂けますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本学関係者をはじめ、大徳寺真珠庵ご住職、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館学芸員熊谷氏、中沼アートスクリーン株式会社堀内氏、磯貝表具店様など多くの方々のお力添えを賜りました。この誌面をお借りいたしまして、御礼を申し上げます。

（嵯峨美術大学造形学科 仲政明教授）



学生による制作風景



博物館内におさめられた障壁画

ITOPICS

告知

「第51回制作展」を開催します。

美術大学にとっては1年に1度、大学を挙げて行う一大イベント「制作展」。今回で51回目を迎えました。今年度は令和5年2月2日(木)～5日(日)の期間、「京都市京セラ美術館」にて卒業・修了年次生の作品を、本学にて進級生の作品を展示し、日ごろの学修の成果をご来場の皆さまにご披露いたします。それぞれの専門分野で知識や技術を身につけていく日々研鑽を積み、感性を磨いてきた学生たちの展覧会です。ぜひ足をお運びください。なお、新型コロナウイルスの影響により、感染拡大防止のため、事前予約制や来館者数を制限するなどの対策を取る可能性があります。会期が近づきましたら、本学WEBサイトや京都市京セラ美術館のWEBサイトの情報等をご確認いただきますようお願いいたします。(制作展委員会)



本学関係者による展覧会情報

嵯峨美術短期大学 専攻科 乾笑由香 松本世羅 「12月の贈り物展」

会 期：2022年12月16日(金)～12月25日(日)
時 間：11:00～17:00
会 場：京都 ミチカケ COFFEE ANCO MUSIC

嵯峨美術大学・大学院・嵯峨美術短期大学 「第51回制作展 卒業・修了制作展」

会 期：2023年2月2日(木)～2月5日(日)
時 間：10:00～18:00(入場は17:30まで)
会 場：京都市京セラ美術館

大学関連行事予定 Jan.2023 — Apr.2023

1月	21日(土) …… 平常授業終了日
	23日(月) …… 後期授業予備日
	28日(土)
2月	2日(木) …… 第51回制作展
	5日(日) …… ※5日(日)は制作展見学会
	7日(火) …… 後期集中授業
	16日(木)
	9日(木) …… 一般選抜(前期)
	17日(金) …… 大学院選抜(後期)
	短期大学専攻科選抜(後期)
	3年次編入学選抜(後期)
3月	3日(金) …… 一般選抜(後期) ※短期大学のみ
	4日(土) …… スカラシップ選抜(後期)
	17日(金) …… 卒業・修了式
	26日(日) …… オープンキャンパス
4月	3日(月) …… 入学宣誓式

※大学関連行事は都合により内容や日程を変更する場合があります。

白群

白群(びやくぐん)とは、柔らかい白みを帯びた青色のことです。岩絵の具に用いる青色の顔料である藍銅鉱(アズライト)という石を砕いて作られた粒子を、さらに細かく粉末に砕いてできる白っぽい淡青色のことをいいます。粒子の状態や色の濃淡から「群青(ぐんじょう)」「紺青(こんじょう)」「白群」と呼び名が変わります。



学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <https://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第83号 2022年12月19日発行 編集：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行：学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp

